



ごあいさつ

ノートルダム清心女子大学の歴史は、1924(大正13)年8月、ナミュール・ノートルダム修道女会米国マサチューセッツ州ウォルサム管区の6名のシスターが来岡した時点で始まります。

ナミュール・ノートルダム修道女会は、1804年にフランスで創設されたカトリック教育修道会で、創設者である聖ジュリー・ピリアートは、フランソワーズ・ブラン・ド・ブルドンの協力を得てフランス革命後の混乱期にキリスト教的価値観に基づいた教育を志しました。この志を継ぐ会員は現在も世界各地で活動しています。

本学は清心高等女学校、岡山清心女子専門学校を前身とし、中・四国地方で最初の女子大学の一つとして、1949(昭和24)年4月に開学しました。初代学長シスター・メリー・コスカ、第2代学長シスター・エーメー・ジュリーによって、本学の礎が築かれました。当時の日本は、敗戦により混迷のなかにはありましたが、聖ジュリー・ピリアートの目指した教育が、本学に実現されたのでした。

以来、今日までのノートルダム清心女子大学の歩みを記す資料は約3万点を超えます。本展示室では、その資料の一部をご覧ください。これらは、在学生、保護者、卒業生をはじめ、地域社会や一般市民の方々の共有の知的財産といえます。

本展示室が、岡山の地に根ざし、世界に開かれた大学として発展してきた本学の歴史の原点を体感していただける場となりましたら、まことに幸いです。

第5代学長 高木孝子

開室 9:00 - 16:00 (月~金)
9:00 - 12:00 (土)
上記以外の開室日は大学ホームページに掲載。
閉室 原則として日・祝日。
その他、本学休業日、入学試験・大学行事に伴う入構制限期間。
場所 ヨゼフホールA棟1階



JR岡山駅(西口)から北へ、徒歩約10分

お問い合わせ先
ノートルダム清心女子大学 資料編纂室

〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9

TEL.086-252-3107

URL <http://www.ndsu.ac.jp/>

発行 2017年4月



ノートルダム清心女子大学 歴史展示室



歴史展示室のご案内

■第2部展示コーナー

4年間の学修と学生生活、そして伝統的な行事を通して、学生たちは新たな人格を完成させて、社会に飛び立つ。このコーナーでは、在学生たちの姿やシスターたちからのメッセージを紹介する。

7 タッチパネル

清心生の信頼と高い評価を探ってみる

- ・リベラルアーツ教育
 - カリキュラムの特徴
 - 学生サポート
 - グローバル教育
 - 地域との連携

- ・清心データ集
- ・卒業生の声

- ・伝統行事
 - 入学宣誓式
 - 入学感謝ミサ
 - キャップ・アンド・ガウン授与式
 - ノートルダムデー
 - フード授与式
 - 卒業証書・学位記授与式
 - 年間行事

- ・校舎の遷りかわり
- ・ノートルダム清心の教育 — シスターたちの言葉

6 クラスフラワー

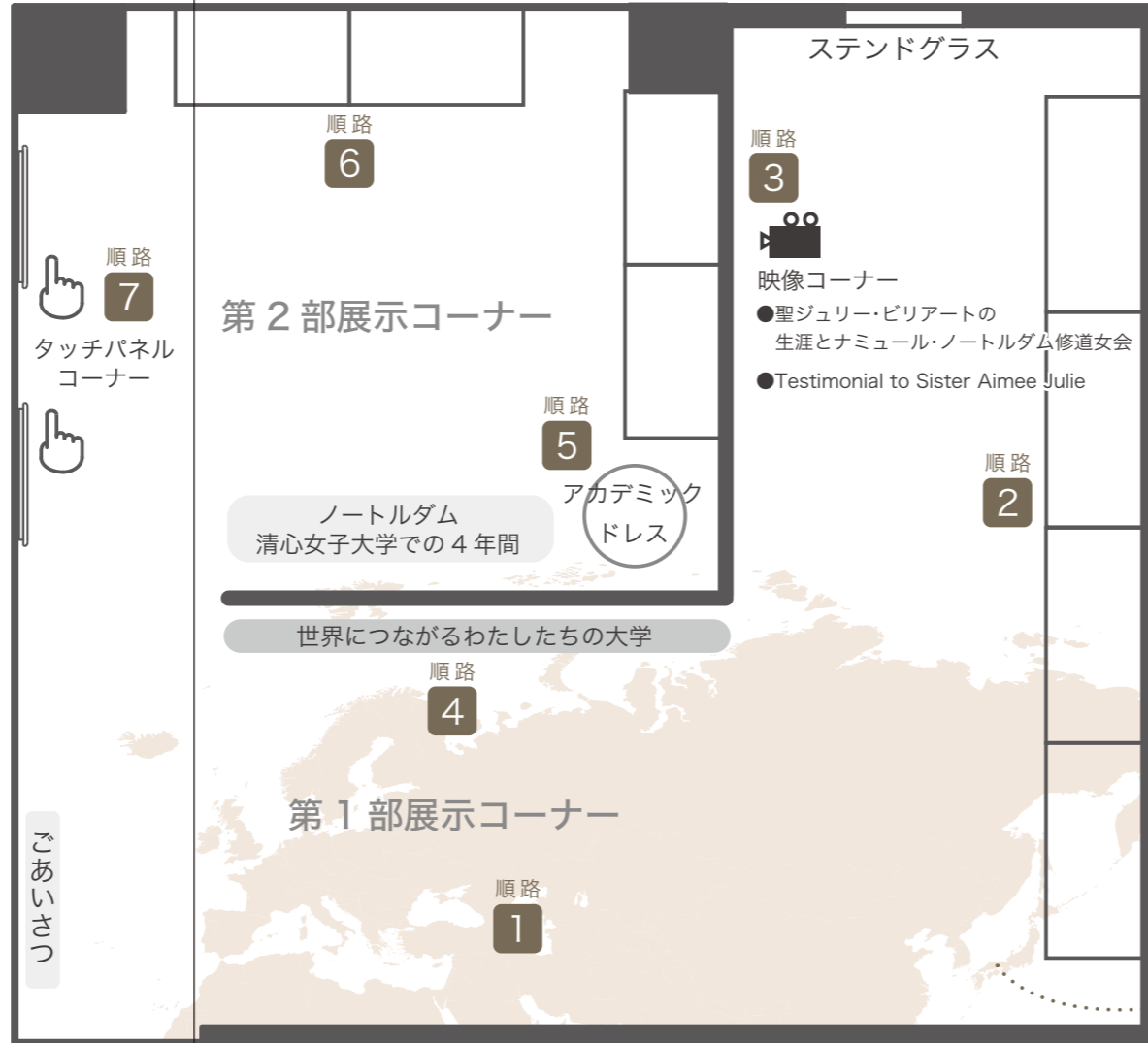
新入生は、3月に卒業した先輩たちのクラスカラーとクラスフラワーを受け継ぐ。開学時のシスターたちは、日本の風土を大切に、色と花を選び、意味を込めた。クラスフラワーはアメリカ合衆国の姉妹校に由来。また、クラスフラワーはある卒業生の手作り。



第1回マレーシア奉仕団しおり

ボランティア活動 1980年

5 学生便覧 1982年度



7 1950年代の授業風景



創立当初の8年間は、キャップ・アンド・ガウン授与式ののち、4年生は週1回、アカデミック・ドレス姿で授業を受けていた。

本学紋章に込められた意味

本学の紋章の中央は聖母マリアの色として知られているblueを地色とした楕円形で、その中に二輪の百合、一つの星、一冊の本と富士山が描かれている。楕と図案化された銀白の百合は、Fleur-de-lis (ユリの紋章) という紋章をもつフランスにおいて創立されたノートルダム修道女会を記念し、同じく銀白に輝く一つの星は、日本の守護者であるとともに会の保護者である暁の星なる聖母マリアを象徴する。金色に縁どられて開かれた本は学問を象徴し、その上に書かれた「清心」の2文字は、聖母マリアの清き心を通して学ぶ神の知識が、すべての学問の究極の目的であり冠であることを意味している。紋章の基底に描かれた銀白の雪をいただく金色の富士山は、日本におけるノートルダム清心女子大学を示す。1949年は本学創立の年。blueとgoldの配色はcollege colorである。

■第1部展示コーナー

1924年、ナミュール・ノートルダム修道女会の創立者の志を継いだ6名のシスターたちによって、アメリカ合衆国の先進的な女子教育が岡山に導入された。その後、第二次世界大戦下での苦難のなかで岡山清心女子専門学校が設立された。戦後すぐの1949年、中・四国地方で最初の4年制女子大学の一つとして本学は創立された。このコーナーでは、本学の礎を築いたシスターたちの足跡をたどる。



1924年 撮影

1 船上の6名のシスター

1924年7月22日サンフランシスコから客船プレジデント・ウィルソン号(「宣教師特別船」とも呼ばれる)に上船し、8月9日神戸港に到着した。来岡は8月13日。岡山で約40年間、宣教と教育に従事してきた「ショファイユの幼きイエズス修道女会」の教育事業を引き継いだ。

ノートルダム清心女子大学の歩み

- 1886 明治19年 岡山市における最初の女学校「私立岡山女学校」創立(ショファイユの幼きイエズス修道女会)、後に「清心高等女学校」と改名
- 1924 大正13年 ナミュール・ノートルダム修道女会アメリカ合衆国ウォルサム管区(マサチューセッツ州)から6名のシスター来岡、清心高等女学校(岡山市弓之町)の運営を引き継ぐ
- 1944 昭和19年 「岡山清心女子専門学校」創立(～1951年まで)
- 1949 昭和24年 「ノートルダム清心女子大学」創立、学芸学部(英文学専攻、家政学専攻)シスター・メリー・コスカ初代学長就任
- 1952 昭和27年 国文学科新設、文学部(英文学科、国文学科)、家政学部(家政学科)に改組
- 1956 昭和31年 シスター・エーメー・ジュリー第2代学長就任
- 1963 昭和38年 渡辺和子第3代学長就任
- 1964 昭和39年 家政学部に**児童学科**開設
- 1965 昭和40年 家政学部に**食品・栄養学科**開設
- 1982 昭和57年 英文学科を**英語英文学科**に、国文学科を**国語国文学科**に名称変更
- 1990 平成2年 雑賀美枝第4代学長就任
- 1995 平成7年 大学院開設
 - 文学研究科 日本語日本文学専攻博士前期課程、英語英米文学専攻修士課程
 - 人間生活学研究科 人間発達学専攻修士課程、食品栄養学専攻修士課程
- 1996 平成8年 家政学部を人間生活学部に、家政学科を**人間生活学科**に、食品・栄養学科を**食品栄養学科**に名称変更
- 1997 平成9年 文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程開設
 - 人間生活学研究科人間生活学専攻修士課程開設
- 1999 平成11年 国語国文学科を**日本語日本文学科**に名称変更
- 2000 平成12年 人間生活学研究科人間複合科学専攻博士後期課程開設
- 2001 平成13年 高木孝子第5代学長就任
- 2003 平成15年 文学部に**現代社会学科**開設
- 2007 平成19年 文学研究科社会文化学専攻修士課程開設
- 2017 平成29年 原田豊己第6代学長就任



2 英文図書室 1956年卒業アルバム

1951年サンフランシスコ講和会議で対日平和条約が締結され、日本国民の主権は回復された。この時期、ノートルダム清心女子大学はナミュール・ノートルダム修道女会などの援助を受けながら、学科増設・教科科目の充実、図書館・体育館などの建設を進めた。英文図書室には、アメリカ合衆国の姉妹校などから多くの書籍が寄贈された。